

九州運輸局メールマガジン 平成25年4月11日 第210号

～九州の明日を拓く運輸と観光～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

目次

- 1 九州運輸局ホームページアップ情報（3月28日～4月10日掲載分）
 - ・各種情報
 - ・その他の情報
 - ・分野別情報
 - ・報道発表
 - ・お知らせ
- 2 現場レポート
 - ・客船「飛鳥」でクルーズセミナーと船内見学会を実施しました
- 3 着任のご挨拶

1 九州運輸局ホームページアップ情報 （3月28日～4月10日掲載分）

----- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

企画競争実施予定情報（平成25年4月3日分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_YOTEI

企画競争実施公示（平成25年4月8日分まで）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

入札結果の公表（平成25年3月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1303.pdf

契約結果に係る情報の公表【随意契約】（平成24年9月～平成25年2月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KEIYAKU_KEKKA

《行政処分情報》

一般貨物自動車運送事業者（平成24年12月分修正）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kamotu24_12_4.pdf

----- その他の情報 -----

リンク集（海運関係 九州旅客船協会連合会リンク先変更）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/link/body.htm>

----- 分野別情報 -----

《バス・タクシー・トラック》

タクシー事業関係公示等（番号30、31 一部改正）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file13_4.htm

タクシーの申請・処分状況（平成25年3月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_syobun2503.pdf

タクシーの申請公示状況（平成25年4月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/taxi/taxi_kouji2504.pdf

トラック運送業を始めるには（一般及び特定貨物運送事業の法令試験公示改正）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file11b.htm

《物流》

倉庫業の新規登録状況（平成25年3月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/souko/souko2503.pdf

南海トラフ巨大地震等に対応した支援物資物流システムの構築に関する九州ブロック協議会（第3回協議会議事概要）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file03/file03_2013-2-18.pdf

《公共交通活性化》

九州地方交通審議会（第16回九州地方交通審議会）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file35.html>

----- 報道発表 -----

「平清盛」瀬戸内連携推進会議を名称変更

～引き続き、瀬戸内海の観光振興に取り組みます～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0326-kanchika.pdf>

宿泊旅行統計調査 =九州版 =

～平成24年10月～12月分（暫定値）について～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0328-kanchika.pdf>

九州の外国人入国者数の推移について(平成24年分)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0328-kokusai.pdf>

クルーズ航路の新規開拓事業を実施します！

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0328-kokusai2.pdf>

九州管内の国の機関で初

九州運輸局がエコ通勤優良事業所認証取得！

～九州運輸局の環境対策取組の一環として～

標語も決定：無理せず 続ける エコ通勤!!

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0329-kankyoka.pdf>

観光圏整備実施計画の新規認定について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2013-0401-kantika.pdf>

----- お知らせ -----

九州運輸局 人事異動一覧

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_022/pdf/2013-0401-jinjika.pdf

平成25年度第1回自動車運送事業者の無事故表彰について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2013-0404-hoan.pdf>

2 現場レポート

客船「飛鳥」でクルーズセミナーと船内見学会を実施しました

～鹿児島県鹿児島市～

3月25日(月)に九州クルーズ振興協議会(事務局:九州運輸局海事振興部、鹿児島運輸支局)は、社団法人日本外航客船協会と鹿児島県との共催により、鹿児島港・マリポートかごしまに寄港中の「飛鳥」の船内でクルーズセミナーと見学会を実施しました。

九州クルーズ振興協議会は、船旅の楽しみを知ってもらい、クルーズ人口の裾野を広げるとともに、豪華客船の入港回数や寄港する地方港湾を増やして地域の活性化を図るため、広報宣伝や啓蒙活動、クルーズ船見学会等の活動を行っています。

「飛鳥」は、全長241m、総トン数50,142トン、旅客定員872名の郵船クルーズ(株)が所有する日本最大のクルーズ客船です。鹿児島県の募集には、鹿児島県内在住又は在勤の2,000人以上の方が応募し、その中から抽選で選ばれた約150人と関係者が今回のイベントに参加しました。

当日は、多少風がりましたが春の陽気の中、受付を終えた参加者はタラップを上がり飛鳥の第6デッキにあるギャラクシーラウンジへと案内されました。最初に浅井船長から「今日の訪船により、クルーズ船の魅力を体験してもらい、次回はぜひ乗船をしてください」と、歓迎の挨拶がありました。

「飛鳥のクルーズ紹介DVD」の上映のあと、JTB九州海外旅行部クルーズ販売課長の中島秀二氏を講師に迎え「クルーズで非日常を気軽に楽しむ極意」と題したセミナーが行われました。

セミナーでは、クルーズを堅苦しく考えずに、

『ゆったりした時の流れを感じながら漫遊する、自由旅』

この究極のスローライフを、ロングクルーズからワンナイトクルーズまで、自分のスタイルに合わせて、もっと気軽に楽しんで欲しいと参加者に話されていました。

そして最後に、「海上を颯爽と走る飛鳥から、ご当地の開聞岳の素晴らしい風景をぜひ見ていただきたい」と言われて、セミナーが終了しました。

続いて、7班に別れて飛鳥の船内見学会が始まりました。乗組員(クルー)が各デッキの施設を移動しながら、丁寧に説明されていました。

第12デッキには、くつろぎの空間「グランドスパ」や「フィットネスセンター」、第11デッキの「シーホースプール」や眺望が素晴らしい「ピスタラウンジ」、第6デッキの「ハリウッドシアター」、「ダンスフロア」、「シガーバー」。他にも本格的なフレンチ、イタリアン、和食など世界の味を楽しめるレストラン&バー等々、船旅を愉しむための数多くの施設とイベントそしてサービスが用意されているとのことでした。

参加者の皆さんは熱心に、そして時折感心した様子で見学をしておられました。約40分間の見学会はあっという間に終わり、今回のイベントも無事終了しました。

九州クルーズ振興協議会では、今後も見学会やイベント等の機会を通して、各県の自治体を始め関係する各分野の機関と連携し、クルーズ振興に努めて参ります。

このクルーズセミナーと見学会の様子は、次のURLからご覧いただけます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_210.pdf

【九州クルーズ振興協議会事務局（九州運輸局海事振興部、鹿児島運輸支局）】

3 着任のご挨拶

4月1日付けで鉄道部長を拝命いたしました宮野でございます。

前任地の鹿児島は、新幹線の全線開業2年目で、鹿児島中央駅は人の流れが絶えず、桜島も連日噴煙を上げ、観光客をお迎えしておりました。

鉄道関係では、JRの観光列車「指宿の玉手箱」は好調を維持しており、肥薩おれんじ鉄道の「おれんじ食堂も」3月24日から運行を始めました。鹿児島市電は、昨年末に観光レトロ電車「かごでん」を、市内の大学生が企画した「白くま黒豚電車～でんでん～」を今年の3月から走らせています。また、市電はウォーターフロント地区への延伸計画も進行しており、九州の中でも鉄道が元気なところでした。

鉄道部には今回で4度目の勤務になりますが、今回の異動で19人中12名が交替しており、まずは部全体の業務の把握と、事務系、技術系の混成部隊でもあり、職員間の融和から取り組みたいと考えています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

九州運輸局鉄道部長 宮野 和典

//////// 編集部より //////////////////////////////////////
承前 とうとうこの欄でご挨拶をする時となりました。

4月から編集部2名が2名とも交代し、代わりに編集部の一員となったわけですが、全く経験が無いジャンルであり、非常に戸惑っております。

編集といえば、数年来ある雑誌を愛読していましたが、編集長が交代したというだけで、読まなくてもいいかなーという雑誌となってしまいました。残念なことでしたが、編集というものがいかに難しいかを実感した最近の出来事でした。

トップ交代の影響の大きさは、編集に限ったことではなく、大なり小なり世間を見渡せばどの世界でも散見される事例であり、特にここ1年は、世界の新聞やテレビを賑わせている交代劇が続いています。新たに九州運輸局の広報の一翼を担うこととなって、その怖さに身の引き締まる思いで一杯です。

(何を大げさなとの声が聞こえてきそうですが・・・。)

不慣れな2人ですが精一杯努めて参りますので、前年度の編集部同様、ご愛顧のほどよろしくお願い致します。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192